

実施報告書

洲宝会

代表 花柳 充朱生

〒861-4101

熊本市南区近見2丁目21-2

1. 事業の名称：「洲宝会40周年記念 第5回花柳充朱生日本舞踊公演」
2. 実施日時： 令和4年10月29日（土） 開場9時30 開演10時
3. 実施場所： 熊本市市民会館シアーズホーム夢ホール
4. 入場料： 全席自由 4000円
5. 事業内容： ・花柳流古典曲21演目 小曲2演目

長唄 ▶宝船、藤娘、二人椀久、まかしよ、晒女、俄獅子、羽の禿、雪傾城、
汐汲、女伊達、舞妓、水仙丹前、桜絵巻、大原女

清元 ▶峠の万歳、花がたみ、お祭り

大和楽▶序の舞

常磐津▶夕立

義太夫▶吉野山

小曲 ▶かわいい魚屋さん、江利チエミメドレー

・花柳流新師範3名、新名取2名披露

6. 参加者数： 出演者21名 スタッフ60名 入場者数750名

7. 事業成果

この度は、洲宝会に多大なるお力添えを頂き誠に感謝申し上げます。洲宝会結成40周年を迎え、記念となりました今会が盛会に終わられましたことをここに報告いたします。

今回は、コロナ禍にも関わらず、多くのお客様にご来場頂くことができ、お客様より、「演目それぞれに物語を感じ、感動した。」「熊本でこのような舞台を鑑賞できたことに喜びを感じた。」などのお言葉を頂きました。

日本舞踊を通して、日本の心と伝統の素晴らしさを伝えることができた舞台であったと思います。また、洲宝会では、今後を担う若手の育成に力を入れており、今回は若手の踊り手が多く出演させて頂きました。この大きな舞台の経験から、それぞれが今後の活動に目標を定め、意欲を高めることができたと思います。今後とも、日本舞踊を通して伝統文化の継承発展に精進致します。

<収支報告>

収入

費目	予算額	積算基礎
補助金	190,000	県文化協会
	300,000	財団法人 熊本放送文化振興財団
	100,000	公益信託熊日スポーツ基金
会費	9143083	出演会員19名×46万円 子供4名×10万円 洲宝会負担3083円
入場料	3,000,000	4,000円×750席
雑収入	650,000	広告費
収入合計	13,383,083	

支出

費用	予算額	積算基礎
賃金	2,886,000	人件費) 大道具、小道具、顔、衣装、かつら、狂言、音響
諸謝費	850,000	司会、受付、場内スタッフ、後見
旅費	1,010,300	旅費、宿泊費、他交通費
需要費		
(印刷)	487,630	プログラム、チラシ、チケット、封筒
(消耗品)	19,865	文具、封筒
(食糧費)	502,240	出演者・スタッフ弁当、食事
役務費		
(運搬)	321,158	招待状、お礼状、葉書送料、切手、運搬
使用量・借用料		
(会場費)	1,271,390	会場、練習場
(その他借用料)	6,034,500	衣装、かつら、大道具、小道具、照明
支出合計	13,383,083	



長唄 晒女



長唄 汐汲



新師範・新名取披露



長唄 手習子



長唄 舞妓



小曲 かわいい魚屋さん



義太夫 吉野山



長唄 大原女



洲宝会四〇周年記念 第5回 花柳充朱生 舞踊公演 令和4年10月29日 於 市民会館シアーズホーム夢ホール

洲宝会 四〇周年記念

はなやぎ みちしゅう

第五回

花柳充朱生 舞踊公演

演目

長唄 宝船

長唄 汐汲

口上

長唄 女伊達

大和楽 序の舞

清元 花がたみ

長唄 藤娘

小曲

長唄 まかじよ

長唄 舞妓

長唄 二人挽久

長唄 水仙丹前

長唄 晒女

常磐津 夕立

長唄 羽根の禿

清元 お祭り

長唄 俄獅子

長唄 桜絵巻

長唄 雪傾城

長唄 大原女

清元 峠の万歳

義太夫 吉野山

2022年度 公益信託熊日文化スポーツ基金助成事業
第64回 熊本県芸術文化祭参加事業


令和4年 10月29日 土

市民会館
シアーズホーム夢ホール

開演 10時 (午前9時30分開場) 入場料 4,000円 全席自由

主催 洲宝会 お問い合わせ / 花柳充真生 TEL.080-1762-0691

後援 熊本県文化協会・熊本日日新聞社・熊本放送・熊本県民テレビ・熊本朝日放送・テレビ熊本
エフエム熊本・FM791



洲宝会 四〇周年記念

はなやぎ みちしゅう

第五回

花柳充朱生

舞踊公演



日時

令和四年十月二十九日(土)

午前九時三十分開場 午前一〇時開演

場所

市民会館 シアーズホーム夢ホール

主催

洲宝会

後援

熊本県文化協会・熊本日日新聞社

熊本放送・熊本県民テレビ・熊本朝日放送

テレビ熊本・エフエム熊本・FM791

二〇二二年度 公益信託熊日文化スポーツ基金助成事業
第六十四回 熊本県芸術文化祭参加事業

祝辞

熊本県文化協会 会長

村上輝和



「洲宝会四〇周年記念 第五回花柳充朱生舞踊公演」を開催されますことを心からお祝い申し上げます。花柳流は、日本舞踊の五大流派であることは皆様ご存知のとおりです。

会主の花柳充朱生様は、高き志を抱き、古典舞踊の継承と共に時代に即した新しい舞踊を生みだしてこられたこと、また、熊本邦舞協会の、重要で中心的な役割を務めておられますことに深く敬意を表します。私たち熊本文化協会でも、次世代の育成に全力を尽くしておりますが、貴会でも、広く門弟を募り、後進の指導育成を目的として結成されたと同っております。今回の舞台では、長唄十四曲、清元三曲、常盤津、大和楽、義太夫、小曲をそれぞれ一曲ずつの二十一曲を上演されると伺っております。また、門下生の中から、将来を担う日本舞踊家名取・師範の逸材を輩出すべく研鑽を続けておられますが、今回は、新名取二名、師範三名の披露も予定されておられます。本公演で、日本の心・伝統を訴え表現されますことに、必ずやご来場の皆様に大きな感動を与えくださるものと確信いたしております。最後になりますが、洲宝会のみならず、ご発展をご祈念申し上げます。祝辞いたします。



ご挨拶

熊本邦舞協会 会長

花柳九州男

皆様には、益々ご清祥にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

本日は、洲宝会四〇周年記念 第五回花柳充朱生舞踊公演会に際し、お忙しい中をお揃いでお越し頂き、厚く御礼申し上げます。

会主は今日この様に、皆様方の御祝福を受け、祝いの会を盛大に開かれます事は、本人の努力は勿論の事、皆様方の温かいご支援の賜と感謝致しております。

又、会主は邦舞協会の委員としての仕事を勤めております。

本日の公演の内容も、立派に成長され、一番、一番に充実した演技が拝見されることが楽しみです。

四〇周年記念の公演を里程碑として、さらに花柳充朱生師の発展を祈ってやみません。

又、この度の公演会では、貴会の皆様方の日頃の研鑽の成果が、力いっぱい披露されること存じます。この公演を契機として、尚一層の精進と発展を遂げられますよう祈念して、ご挨拶と致します。



お礼の言葉

洲宝会

会主 花柳 充朱生

秋季さわやかな季節となりました。

本日は、ご多忙の中、会場まで足をお運びいただきまして、誠にありがとうございます。

この度、皆様方のご厚情とご支援により、洲宝会四〇周年記念 第五回花柳充朱生舞踊公演を開催する運びとなりました。

洲宝会を結成し、早いもので四〇周年を迎えました。私が日本舞踊を始めましてからは、御指導くださるお師匠様やお弟子さん達に恵まれ、また、たくさんの方々温かいご支援により、現在まで続けることが出来ました。厚く感謝申し上げます。

舞台開催にあたり、花柳龍知師様より心温かいご指導を頂き、会員一同、心一つに日々努力、精進し、今日この日を迎えることができました。

日本の伝統芸能である、日本舞踊と日本の心の素晴らしさを感じていただけますよう、未熟な芸芸ではございますが、会員一同、精一杯舞台を務めさせて頂く所存でございます。

また、今後とも「洲宝会」にご指導、ご鞭撻を賜ります様伏してお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

番組

一	長	宝船
一	大和楽	口上
一	長	序の舞
一	長	藤娘
一	長	まかしよ
一	長	二人挽久
一	長	晒女
一	長	羽根の禿
一	長	俄獅子
一	長	雪傾城
一	清元	峠の万歳

フィナーレ

一	長	汐汲
一	長	女伊達
一	清元	花がたみ
一	小曲	水仙丹前
一	長	舞妓
一	長	夕立
一	常磐津	お祭り
一	清元	桜絵巻
一	長	大原女
一	長	吉野山
一	義太夫	

きものお手入処

みやた

熊本県上益城郡嘉島町上島2082-4
電話 (096)237-1484

ファイン ムラサキ

花 Fine Murasaki

熊本市南区川尻2-5-5 ☎0120-357-187 TEL・FAX 096-357-9072



賛助出演

長唄 宝船

花柳知香之祥

(解説)

七福神が宝船に乗っての初夢物語に廓の気分を添えたご祝儀舞です。

京呉服の和吉

〒861-5513 熊本市北区鶴羽田町1041-7
TEL.096-345-1554 FAX.096-345-1586



花柳 洲真呂



花柳 洲涼三代



花柳 充真生

名披露目・師範披露

この度、三名が花柳流師範として、また二名がお家元様よりお名前を許され、花柳の末席に加えさせていただくことになりました。本日、お披露目させて頂くことは、この上もなき喜びに存じます。もとより未熟者ではございますが、花柳流師範、名取として恥じぬよう努力致します。今後ともよろしくお願い申し上げます。



花柳 洲鈴千代

【師範】

花柳 洲真呂 しゅうまろ

花柳 洲涼三代 しゅうすずみよ

花柳 充真生 みちまお

【名取】

(矢野ひかる事)

花柳 洲鈴千代 しゅうすずみよ

(竹原千尋事)

花柳 洲充千尋 しゅうみちひろ



花柳五三朗 振付

大和楽 序の舞

村木 恵子

(解説)
女流画家、上村松園の代表作「序の舞」を舞踊化したもので、
絵師として筆をとるか女性として恋をとるか激しい葛
藤の表現が入り、「絵筆に生きた女性の生涯」を表現した
作品です。



長唄 藤娘

金澤 かほる

(解説)
大津絵の絵から抜け出して踊るという趣向で、よその女性に
心変わりしてしまつたらしい不実な恋人への娘の嫉妬を松の
木に絡みつく藤の花になぞらえて唄っています。



長唄 まかしよ

花柳 充真生 みちまお

(解説)
「まかしよ」とは江戸の大道芸のようなもので、「願人坊主」とも呼ばれ、
白装束で下箱を下げ、絵札を撒いて金ををうことをしていました。子ど
もたちは絵札欲しさに「まかしよ、まかしよ、まかしよ(撒いてくれ、撒いてくれ)」
と囃し立てたことから「まかしよ」と呼ばれるようになりました。
酒を飲んで街を練り歩くまかしよが、流行歌、俗曲(遊郭で流行った
歌)、当時の酒の銘柄神仏まで引き合いにして言葉を綴り、廓の情景を
唄うという内容です。

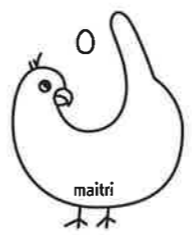
四世花柳芳次郎 振付

長唄 二人挽久

松山太夫 池永 慈美
腕屋久兵衛 中川 節子

(解説)
大阪の豪商腕屋九兵衛は新町の傾城松山と深く馴染み、豪遊し過ぎた
ために親類らに座敷牢に閉じ込められてしまいました。気が狂った九兵
衛は、炮烙頭中姿のまま出奔し、松山会いたさに出てきた挽久があても
なくさまよひ歩きます。
疲れてまどろむ挽久の前に、どこからともなく松山が現れ、華やかだった
昔に二人で思い出を馳せ、遊郭でのやり取りなどを踊っているが、やがて
松山はどこへともなく消えてしまふのでした。一人残された挽久は今この
出来事が夢であつたと気が付き、悲しみに暮れるという物語の作品です。

有料老人ホーム・デイサービス・訪問介護
こはるえん
「心陽苑」
友愛介護株式会社
〒869-1233 菊池郡大津町大字大津2399-140
(TEL 096-237-7007 FAX 096-237-7207)

薬膳スパイスとたっぷり野菜のスープカレー
農園カフェ マイトリー

〒861-2206 熊本県上益城郡益城町下陳734-1
TEL.090-4349-5254 ※完全予約制です。
営業時間 11:00~15:00 不定休
ホームページ: maitri.jp



長唄 晒女

お兼

花柳 裕知洲 ゆうちしゅう

取巻 花柳 純郎

取巻 若月 仙之助

(解説)

昔、近江の国に、大力のお兼という名の女がおり、暴れ馬を下駄で手綱を押さえて止めたという話を素材にして作られた作品で、晒たらいを手に馬を止めたお兼ねが、自分の自慢や相撲の手振りなどをするうち、とど布晒を振って幕となります。勝ち気で強い中にも女形の可憐さが表現されています。



長唄 羽根の禿

楠田 敦子 (中一)

河村 美月 (中二)

佐藤 芽衣花 (中二)

(解説)

吉原の鼓楼の見世先で、愛らしい禿が、羽根つきを興じたり、廓のつとめの辛さを踊る内容で、花魁の仕草を真似ながらも子供のあどけなさのある舞踊です。



花柳五三朗 振付

長唄 俄獅子

芸者

花柳 姿緒太 しおた

幫間 花柳 充真生

(解説)

江戸の末期から明治にかけて、江戸吉原では毎年八月一日の日から晴天三〇日間行われた年中行事、「俄」で芸者や幫間らが趣向を凝らして出した踊り屋台の様を写しています。俄の気分と廓情緒を長唄化し、それに獅子の狂いを添えた粋な曲です。



花柳五三輔 振付

長唄 雪傾城

花柳 洲寿々乃 しゅうすずの

(解説)

吉原の傾城が、苦界つとめの様子や恋のたてひきを雪に縁のある言葉を使いながら唄った曲で、恋人を待つ儂い女心を表現し、しっとりとした風情のある舞踊です。



創業明治四十三年

米白餅本舗

もち餅屋



熊本の
百年もち屋

水道町本店:熊本市中央区水道町8-1 Tel.(096)352-2367
東バイパス西原店:熊本市西原2丁目1-5 Tel.(096)285-7635

美しい貴方を創る! カット&パーマ

美の館 舞

熊本市南区日吉1丁目4-19 北口プラザ103
電話 096-326-1602



四世花柳芳次郎 振付

清元 峠の万歳

才蔵 花柳 洲妃蘭
賛助出演 太夫 花柳 龍知郎

(解説)

年の初めに家々を回り、一家繁栄を祝して歌い舞う万歳が訪れていました。互いに気の合った二人が稼ぎも終わり、三河に帰る太夫を才蔵が峠の茶屋まで見送り、「忘れて下さるな」と別れを惜しむ内容で、来年逢おうとの約束の酒を酌み交わし、つれづれに舞った後、離れ離れに別れていき、姿が見えなくなった太夫を名残り惜しんで才蔵が鼓を打つという物語の作品です。

長唄 汐汲

花柳 洲充千尋

(解説)

故あつて須磨に配流された在原行平が松風と村雨への思慕の情がうたわれております。京へ去っていった行平が形見に残っていた鳥帽子と狩衣を身に着けて踊るといふ内容の舞踊です。

花柳五三郎 振付

長唄 女伊達

女伊達 花柳 洲真呂
カラミ 花柳 純郎
カラミ 若月 仙之助

(解説)

江戸の女侠客が一本差し、尺八片手に男侠客を相手に立ち回りを見せる派手な踊りです。いわゆる所作ダテが中心で、長唄「助六」の母胎となっている作品です。

清元 花がたみ

花柳 洲玉蓮

(解説)

正月の祝いに新作で披露された歳旦浄瑠璃で、花札の十二カ月を上手く読み込まれています。一月から、松・梅・桜・藤・菖蒲・柳・萩・薄・菊・紅葉・牡丹・桐の十二種類で、一年の四季を表現した曲です。

外装リフォームで住まいをより強く、美しく!

FUZIPROOF
future zip proof

外装改修・防水・リフォーム

模型で始まる家づくり

de:kita

住宅模型キット・製作

TEL 096-355-8444 / E-mail fuziproof@tuba.ocn.ne.jp
〒861-4101 熊本市南区近見8丁目 8-79

フジプルーフ工専有限公司

株式会社 ティービーエム

代表取締役 松枝 伸行
Nobuyuki Matsueda

〒869-0404 熊本県宇土市走瀧町403-1
TEL:0964-23-0505



山曲

一、かわいい魚屋さん

土山 裕誠 (3歳)

一、江利チエミメドレー

奴さん・さのさ・木遣くずし

花柳 充朱生 みちしゅう

花柳 裕知洲 ゆうちしゅう

花柳 充真生 みちまお

花柳五三朗 振付

長唄 舞妓

花柳 洲鈴千代 しゅうすずちよ

(解説)

京の舞妓の生活や情景を歌った作品で、舞妓が座敷で舞う曲としても有名な「京の四季」が挿入されており、京都の四季で春は東山の花見、夏は鴨川の夕涼み、秋は華頂山の紅葉、冬は丸山の雪景色などの風物を唄ったものです。

長唄 水仙丹前

花柳 桜千洲 おうちしゅう

(解説)

特にまとまった筋はありませんが、美しい色若衆の姿で丹前六法をみせるというのが眼目です。丹前とは、承応明暦に頃、神田の堀丹後守の邸のまえに湯女をおいた風呂屋が並んでおり、丹後の前で丹前風呂と呼ばれ、ここに通う侍が髪型や服装、歩く姿まで独自の工夫をこらした姿を丹前風といわれるようになりました。この形が舞踊に取り入れられたのが丹前振りです。



最新デジタルプリントスピード仕上げ
写真加工・復元・複写・遺影・修正
写真・印刷物 etc → デジタルデータ化
出張撮影 (集合、スナップ、証明用)

有限会社 スター商事

〒861-4109 熊本市南区日吉2丁目2-31
TEL 096-358-3515
FAX 096-223-6515
携帯 090-1977-2025
E-mail: star.camera@wine.plala.or.jp



- ◆新車・中古者販売
- ◆車買取り
- ◆車検・一般整備・钣金
- ◆保険・オークション代行

ナカガワ自動車

代表者 中川 裕治

〒869-4614 熊本県八代市興善寺町 555
TEL (0965) 39-0567 FAX (0965) 39-0569



花柳五三朗 振付
常磐津 **夕立**

花柳 洲鈴華 しゅうれいか

(解説)
口に糠袋をくわえ、湯屋に向かう粋な芸者を描いた踊りです。途中から何処からか聞こえてくる三味線の音に男女の色模様を想い、思わず嬉気するなど、ちよつとした女性心理も織り込まれています。

清元 **お祭り**

芸者 花柳 美智瑠三 みちるみ

若い衆 花柳 純郎
若い衆 若月 仙之助

(解説)
江戸の三大祭のうち、日枝神社の山王祭りを題材にした演目です。
江戸の女性イコール芸者と来れば、祭りがつきもので、夏の盛り、粋で艶のある芸者が、若い衆を相手に歯切れの良く立ち回ります。口説きでみせる色気のある風情も見どころな踊りです。

花柳五三朗 振付

長唄 **桜絵巻**

芸者 花柳 洲里菜 しゅうりな

町娘 花柳 裕知洲 ゆうちしゅう

賛助出演 役者 花柳 龍知郎

(解説)
のどかな観桜の景を桜絵巻に描いた曲で、この舞台では一人の役者を芸者と町娘が取り合い争いになるが、最後は華やかに仲良く踊るといふ作品です。

長唄 **大原女**

花柳 洲涼三代 しゅうすずみや

(解説)
京の町へ、薪などを頭の上のせて売りに行く黒木売りの大原女を題材にしたもので、クドキ、醜女が化粧をして男に見せるおかしみの振り、綾竹を使つての踊りで引き抜いて国入り奴へ変わり、毛槍を持つて踊る豪快な踊りです。

会席・鉢盛・寿司盛・仕出のことならおまかせ下さい。



平家寿司

熊本市刈草1丁目5-6 (第一信用金庫前)
TEL 096-357-4828(代)

〈定休日 月曜日〉

介護医療院



医療法人社団 誠心会

〒861-4232 熊本市南区城南町高1099
TEL 0964-28-6311
FAX 0964-28-6313





義太夫

吉野山

静御前 花柳 充朱生 みちしゅう

忠信 花柳 充真生 みちまお



(解説)

義経と離れて京都に居た静御前は義経が吉野に居ると聞き、会いたさに旅立ちます。義経の家来の佐藤忠信が共をしていますが、本当の忠信は母を見舞いに奥州に帰っており、共をしている忠信は、静の携える初音の鼓の皮を父母にもつ原九郎狐が化けています。この二人の道行きがこの曲で、義経を慕い尋ねる旅の途中の憂さを晴らすため、辺りの景色を眺めたり、里の歌に合わせ田舎節を踊ったり、忠信の兄である佐藤継信が壇ノ浦で義経を守り、討ち死にしました。まった話を静かに物語ります。物語が済むと二人は旅支度を整え、吉野山の麓をさしていくという物語の舞踊です。

監修・構成

花柳 龍知郎

指 導

花柳 充朱生

スタッフ

衣装 松竹衣裳部 (大阪)

着付 加藤 栄治 (大阪)

結髪・かつら 八木源かつら (京都)

顔師 黒岩 智史 (大阪)

狂言 小丸 屋 (京都)

小道具 小丸 屋 (京都)

大道具 福岡市民ホールサービス (福岡)

照明 福岡市民ホールサービス (福岡)

音響 加藤 進矢 (福岡)

ビデオ (株)イージービデオ企画 (福岡)

舞台写真 スターカメラ (熊本)

司会 池田 さとみ (熊本)

後 見

花柳 吉小叟

花柳 知香之祥

COBOL

Design Works

企画・制作・デザイン / 各種印刷物全般
ロゴマーク・ロゴタイプ・キャラクター・名刺
会社案内・オープンツール・パンフレット
リーフレット・DM・チラシ・パッケージ・サイン
etc

コボルデザインワークス
〒862-0924 熊本市中央区帯山4丁目52-47
PHONE 090-7929-4181 FAX 096-221-6291
E-MAIL cobolhiromi@gmail.com

*** お稽古場のご案内 ***

洲 宝 会

会主 花柳 充朱生

お稽古場 熊本市南区近見2丁目21-2
TEL・FAX 096-353-5748